

ゼロトラストソリューションを掲げ サイバーレジリエンス・パッケージを提供

S-Ier（システムインテグレーター）として、セキュリティ事業をはじめ、多様なIT事業を手掛けるアルプスシステムインテグレーション株。同社のセキュリティに関する幅広い取り組み、そして2025年11月から提供しているパッケージソリューション、「Endpoint Cyber Resilience Suite」などについて話してもらつた。



藤森正嗣

ふじもり・まさつぐ

アルプスシステムインテグレーション株式会社
クラウドソリューション事業 ビジネス戦略部 新ビジネス推進課



山口和希

やまぐち・かずき

アルプスシステムインテグレーション株式会社
セールス&マーケティング第2営業部 関西営業課

Webファイルタリングツールで 「GIGAスクール構想」に貢献

まずは御社の概要から伺いたいと思います。

山口和希・アルプスシステムインテグレーションセールス＆マーケティング第2営業部
関西営業課 当社はもともとア

ルプス電気株のIT戦略会社として1990年に誕生しました。その後、アルプス電気とアルペイン株の経営統合とともにない、当社もアルペイン情報システム(株)と合併することになりました。現在の組織体制になりました。セキュリティに関しても、1996年に日本で初めてファルタリング事業(※)を開始し、2000年に日本初の法人向け

国産Webファイルタリングソフト「InterSafe」を販売するなどしてきました。現在は顧客システムの企画・設計・開発・導入・運用・保守を一貫して手掛けています。

Webファイルタリングに関しては、教育の現場でも重用されているそうですね。

山口 2019年から文部科学省が推進してきた「GIGAスクール構想」では、子どもたち一人ひとりに端末を一台ずつ配布するとともに、全国の公立学校への高速大容量の通信ネットワークの整備が推進されてきましたが、現在はその第2フェーズとなっており、ICT環境の更新や学習方法のアップデートを通じて、GIGAスクール構想をさらに推し進めることにな

っています。そのなかで、当社では校内授業と家庭学習の安全なインターネット利用を実現するためにクラウド型Webフィルタリングサービス「InterSafe GatewayConnection」を提供しているといえます。このWebフィルタリングサービスは国内トップレベルのファイルタリングカテゴリ数を誇るだけでなく、

授業時間に合わせてWebアクセスの有無を管理したり、授業

で利用するYouTubeチャンネルのみを閲覧許可させたりと、柔軟な設定が可能ということもあり、多くの学校や教育委員会に導入いただいています。

特定、防御、検知、復旧を ワンストップで実現する 「Endpoint Cyber Resilience Suite」

自治体や企業に対しても、ハッピーポイント対策として「HP Sure Click Enterprise(HP SCUE)」を積極的に提案しているそうですね。

学校や教育委員会にとって、非常にありがたいですようね。

藤森正嗣・アルプスシステムインテグレーションクラウドソリューション事業 ビジネス戦略部 新ビジネス推進課 サイ

ングの方針は自治体によって異なるので、柔軟性は非常に重要なポイントです。また、文部科学省が児童・生徒の端末利用ログの可視化を指示していることもあり、当社のWebファイルタリングサービスではそのあたりもカバーしています。簡単に児童・生徒のログを確認できるほか、全体の傾向などもダッシュボードで可視化できるようになっています。そのため、教育委員会などではそのデータをもとに必要な端末活用の可能性を探求しているようです。もちろん、サポート窓口も設置しており「必要なサイトにアクセスできません」「危険なサイトにアクセスできてしまつた」などの問い合わせにもスピーディに対応しています。

バーアクションが多様化している今日、企業を守るには複合的なセキュリティ対策が必要です。実際、

従来のセキュリティツールは外部からの攻撃を意識したものが多く、ファイアウォールなどでは境界を守ることに注力しておま

した。しかし、今ではファイアウォールをすり抜けてくる攻撃も増えてきましたし、外部だけでなく、内部から情報漏洩が生じることも増えてきました。また、一見すると安全なサイトでも、ハッカーが情報を書き換えたり危険なサイトにしているケースもあり、Webフィルタリン

グだけではすべてのサイバー攻撃から企業を守ることができなくなっているのです。

そこで、当社ではゼロトラスト信を信用しないことを前提としたセキュリティソリューション

を標榜し、とくにセキュリティ関連の人材リソースが足りない

中堅・中小企業への支援に力を注いでいます。そのひとつのがソリューションが株式会社プロードと

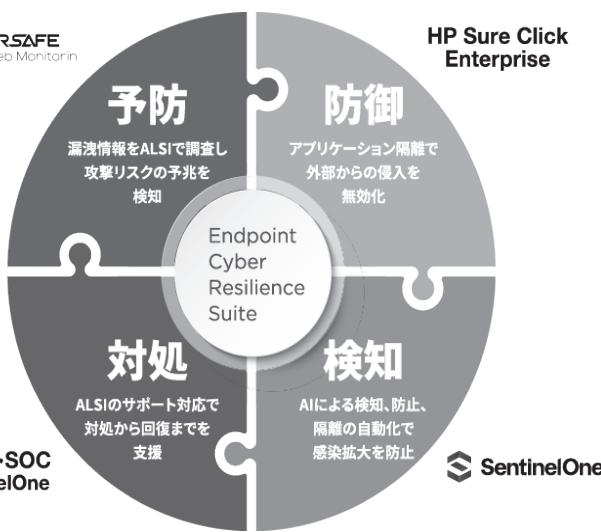
の協業で提供を開始した「HP Sure Click Enterprise」です。このソリューションを導入すれば、日常的にユーザ者が使用しているパソコン

でのメールやインターネット閲覧を隔離環境で実施することでリスクを減らすことができる、セキュリティインシデントの発生率をグッと減らせるのです。おかげで、最近は自治体、企業のほか、教育委員会や医療機関などからの引き合いが増えています。

山口 たとえば「InterSafe Darkweb Monitoring」はダークウェブ上に自社の情報が漏洩していないかを調査するツールで、結果についてはレポートなどを確認することができます。

ゼロトラストソリューションのひとつとして、2025年11月からサイバーレジリエンス(サイバーベルト)攻撃を受けても業務を継続し迅速に回復する力の向上に資する「Endpoint Cyber Resilience Suite」というパッケージも提供はじめたそ�ですね。

山口 「特定」「防御」「検知」「復旧」の対策をワンストップで提供するパッケージです。特定は「InterSafe Darkweb Monitoring」、防御に関しては「HP SURE」、検知は「SentinelOne」、復旧は「AIスマートSOC for SentinelOne」といった具合に、目的に応じたソリューションをパッケージで提供しています。これにより、外部・内部の脅威を包括的に対策し、中堅・中小企業における導入・運用コストとリソースの課題解消を目指しています。



AIスマートSOC
for SentinelOne

SentinelOne

藤森 ゼロトラストの考え方はまだまだ浸透しておらず、とくに中堅・中小企業の間では導入が進んでいません。しかし、今やサイバーレジリエンスも含めたゼロトラストセキュリティは中堅・中小企業にとっても重要な取り組みです。だからこそ、教育や普及活動にも力を入れることで、日本のセキュリティレベルの向上に寄与できればと思っています。



攻撃は最大の防御なり

Ridge Security - RidgeBot®

高度な知識を要するセキュリティ検証をAIで自動化!
進化を続ける攻撃の手口をいち早くシミュレーション!
実在するセキュリティの弱点を継続的に発見!

詳細は [Broad Security Square] で <https://bs-square.jp/columbus>

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスヒル永田町 7F
TEL: 03-6205-7463 (代表)



AIが攻撃より先に
リスクを教えてくれる



株式会社ブロード